

平成23年度 富山県立雄山高等学校 学校経営計画

1 学校教育目標

- (1) 伝統を受け継ぎ、新しい未来をつくりだす創造力とたくましい実践力を培う。
(創造)
- (2) 個性の伸長に努め、道義と勤労を尊ぶ自他協調の精神を養う。(協調)
- (3) 知性を磨き、情操を養い、身体を鍛えて、社会に貢献する健全な国民を育成する。(錬磨)

2 学校の特徴

本校は、普通科、生活文化科の全日制2学科からなる総合制高校であり、それぞれの科の特色を十分発揮できるよう配慮しながら教育活動の実践を行っている。

普通科では、生徒各々が目的意識をもって、自らの能力・適性を見つけ、主体的に進路選択ができるように、1年次では基礎学力の充実を図るとともに進路意識を高める指導を行い、2・3年次では適性・進路希望に応じた密度の濃い学習ができるように、習熟度別学習を英語と数学で実施している。また、多様な進路希望に応じた科目選択ができるように3年次の教育課程を工夫している。

生活文化科では、食物や被服、保育、福祉などの専門科目の学習を通じて豊かな感性やたくましい行動力を育むことに力を注いでいる。また、学習活動で習得した知識の定着と技術の向上を図るため、各種検定試験に挑戦させている。

さらに、特別活動を活発にし、生徒の実践的活動を通じて協調性の育成、自主性の高揚を目指しながら、保健・安全に関する指導の充実を図り、生徒が身体の錬磨に努め、健康な心身を育成するように支援している。

3 学校の現状と課題

社会環境の変化に伴う価値観の多様化等、高校教育を取りまく諸条件の変化は、本校に入学してくる生徒にも影響を及ぼしている。

本校の生徒は概して温和で純朴であるが、その反面、積極性や意欲にやや欠けるとともに、規律ある生活態度に苦慮している生徒も見受けられる。さらに最近では、心身に悩みをもつ生徒の増加、過保護による自立心・忍耐力の欠如、これに加えて高校生活の目標があいまいなまま入学してくる生徒もいる。これらの生徒は、学校生活全般を通じて無気力、無関心になりがちで、学校生活にもなじまず、生活指導上の今日的な問題を引き起こしやすい傾向にある。

このような本校の実情から、基本的な生活態度の育成を図るとともに、個々の生徒の能力・適性、進路希望に応じ、多面的に生徒の諸活動を生かす場を設定し、これを通じて学校生活に魅力と活力を持たせるよう創意工夫をしていく必要がある。

さらに、地域から期待されていることもあり、地域との連携を大いに深めていくことが肝要である。

4 学校教育計画

項 目		目 標 ・ 方 針 及 び 計 画	
1 学 習 活 動	(1) 教育課程	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい時代をたくましく生きる力を育むとともに、進路・適性に応じて幅広く科目選択できる教育課程とする。 ○生活文化科では、さらに、専門科目での実験・実習等の体験学習を重視する教育課程とする。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○普通科では1年次で共通科目を履修させ、2年次からは類型別カリキュラムを編成する。また、数学・英語は、2年次より習熟度別学習を展開し、生徒の学力や志望に応じた指導を行う。 ○生活文化科では、学校外の実習や専門講師の招聘などを積極的に行い、より専門性を高める。また、校内ではきめ細かい指導を展開する。
	(2) 重点1①② 教科指導	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に準拠した各科目の指導目標を踏まえて、各学年・各教科の連携を密に行い、生徒の実態に即した学習指導計画のもとに教科指導を実践し、基礎学力の充実・生徒の人間形成及び進路目標の達成が図れるよう努める。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態に即して学習指導法の改善に努め、生徒の学習意欲と基礎学力の向上を目指す。 ○個人面接を定期的実施し、生徒一人ひとりの実態を把握して個別指導を行うとともに、学年会を通じて、個々の生徒の状況の共通理解を図り、学年として計画的な学習指導を行う。 ○放課後等を利用して教科指導を行ったり、適切な課題を与えたりして基礎学力の定着及び充実を図る。 ○学校行事を精選して授業時間の確保に努めるとともに、年間学習指導計画や進捗表を生徒に提示して適切な授業を展開する。
	(3) 重点2①② 生活文化科	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭科技術検定の取得を専門学科の学習の基本と位置づけ、各級位ごとの到達目標を明確にし、学習意欲の向上と知識・技術の定着および発展的・創造的な技能の習得に努める。 ○さまざまな体験的・総合的な学習をとおして、生活関連産業の社会的な意義や役割の理解や、家庭の各分野に関する諸課題を主体的・合理的に解決し社会の発展を図る能力と実践力を育てる。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○専門教科の主要科目である食物および被服分野における技術指導を徹底し、検定上位級の合格を目指させる。 ○校外における実践的・体験的な学習の機会として保育実習や企業見学を実施するとともに、家庭クラブ活動やボランティア活動などの一層の活性化と推進を目指す。 ○各分野で外部講師を招聘し、専門的な学習への動機付けや進路意識の高揚を図り、生活産業への理解・関心を高める。 ○ホームプロジェクトや課題研究などの学習をとおして、問題解決能力や自発的・創造的な学習態度を育てる。

項 目		目 標 ・ 方 針 及 び 計 画		
2	(4)	重点3①② 生徒指導	目標	○交通安全や健康の維持・増進に対する意識の向上を図り、社会に貢献できる人間の育成を目指す。
			計画	○交通安全意識（特に自転車乗車中）の高揚を図る。 ○生活習慣の見直しに重点を置き、健康の維持・増進を図る。
学 校 生 活	(5)	保健指導	目標	○健康の保持増進のための環境を整えるとともに、生涯を通じて健康な生活を送ることができる知識・意欲・判断力を養う。
			計画	○健康診断をとおして、自己の健康評価能力や生活改善意欲を養う。 ○健康相談活動の推進により、健康課題の早期発見と解決能力を育む。 ○生徒保健委員会の活性化を図るとともに、健康についての興味・関心を高める。 ○学校保健委員会や関係機関等との連携を通して、保健衛生環境を整備する。 ○清掃活動をとおして、美化意識を高めるとともに公共心を育てる。
3	(6)	重点4①② 進路指導	目標	○具体的な進路目標をできるだけ早く設定させる。 ○生徒が自己の第一志望と定めた目標に向けて、それに対応し得る学力を身につけさせる。
			計画	○職業や上級学校について学ぶ機会を作り、生徒個々の進路意識の早期明確化を図る。 ○漢字検定をはじめとして、各種資格の取得に積極的に挑戦させる。 ○定期的に課題を与え、自主的な学習を促すとともに、到達度確認テストや課題テストを実施し、個々の力の定着を図る。 ○全ての生徒が確実に学力を身につけられるように、授業法を工夫する。また、入試問題研究を通して大学入試に向けての指導の充実を図る。
4	(7)	重点5①② 特別活動	目標	○生徒の自主的・自発的な行動を通して、よりよい学校生活を築き、有為な社会人としての資質を育てる。
			計画	○ボランティア活動を推進し、公共心を育む。 ○HR活動や生徒会活動等では、生徒の特性を伸ばし社会性を育成できるように諸行事を企画立案する。 ○部活動では、生徒が目標を明確にし、自発的・自主的活動が行えるように支援する。
特 別 活 動	(8)	重点6① 図書指導	目標	○読書習慣を身に付けさせ、国語力・思考力を高める。 ○小論文試験に対応できるように書籍や資料の整備を図る。
			計画	○各学年で実施する朝読書をサポートする。 ○進路学習や興味・関心に応じた図書の整備や活用を推進する。 ○図書だよりや掲示コーナーを工夫して、図書館の利用を促進する。
5 そ の 他	(9)	保護者・地域との連携	目標	○地域に根ざした開かれた学校づくりを推進する。
			計画	○学年及び学級懇談会を開催し、学校と保護者との連携を密にする。 ○保護者・生徒・教職員の意見交換会を開催する。 ○学校行事の開放を推進する。 ○地域行事への参加を通じて、地域との交流を図る。
(10)	情報活用	目標	○電子情報の共有化の促進と情報保護の徹底を図る。	
		計画	○電子情報をファイルサーバーで一元管理する。 ○情報セキュリティ対策指針を作成し、教職員へ周知徹底する。	

5 今年度の重点課題（学校アクションプラン）

平成23年度 雄山高等学校アクションプラン		- 1 -
重点項目	(1 学習活動) 教科指導の充実	
重点課題	教科指導の改善と基礎学力の定着・充実を図る。	
現状	<ul style="list-style-type: none"> 互見授業、生徒による授業評価を行い、各教科部会等で改善へ向けての取り組みを行っているが、外部からの授業についての評価が十分に行っていない。 生徒一人一人に、自分自身の具体的目標がないため、学習意欲が低く、家庭学習時間が十分に確保されていない。そのため、予習が不十分なまま授業に臨んだり、復習や課題が疎かになったりしている生徒がいる。そのため、基礎学力が十分身に付かない生徒がいる。 	
達成目標	①授業の公開 年2回以上	②授業以外の学習時間 90分以上の生徒の割合60%以上
方策	保護者や中学校教員への授業公開を計画する。また、中学校教員との間で教科指導の中高連絡についての研修会を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 学習・生活実態調査と学習時間調査をそれぞれ年2回実施し、生徒の学習及び生活状況を調べる。それらの結果をもとに、生徒に対する指導を計画的に行う。 個別面接を積極的に実施し、生徒一人一人の見方や考え方を把握するとともに個別指導を行う。 学習習慣を身に付けさせるために、課題に取り組みさせる。また、学習した内容を定着させることを目的とした課題にも取り組みさせる。特に週末課題を工夫し、休日における家庭学習の習慣化を確立する。 長期休業中、日々の学習計画表を作成させることにより、計画的に学習に取り組みさせる。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状のまま D:後退した)

平成23年度 雄山高等学校アクションプラン		- 2 -												
重点項目	(1 学習活動) 専門科目(家庭)の学習指導の充実													
重点課題	家庭科技術検定をとおして、専門科目の基礎的、基本的な知識と技術の習得を図るとともに、生活文化科での学びに対する達成感や充実感を高める。													
現状	中学校での家庭科の学習内容の縮減や、家庭や地域における生活体験の希薄化により、家庭に関する基礎・基本が定着しにくく、創意工夫の意欲が乏しい生徒が増えている。													
達成目標	① 家庭科技術検定における 合格率・取得率	② 卒業時における生活文化科に対する満足度 90%以上												
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>4・3級</td> <td>食物調理 被服製作</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>2級</td> <td>食物調理 被服製作(洋) " (和)</td> <td>90 90 90</td> <td>90 90 30</td> </tr> <tr> <td>1級</td> <td>食物調理 被服製作(洋) " (和)</td> <td>80 80 80</td> <td>30 20 15</td> </tr> </tbody> </table>	4・3級	食物調理 被服製作	100%	100%	2級	食物調理 被服製作(洋) " (和)	90 90 90	90 90 30	1級	食物調理 被服製作(洋) " (和)	80 80 80	30 20 15	
4・3級	食物調理 被服製作	100%	100%											
2級	食物調理 被服製作(洋) " (和)	90 90 90	90 90 30											
1級	食物調理 被服製作(洋) " (和)	80 80 80	30 20 15											
方策	家庭科技術検定合格に必要な学習指導、実技指導の徹底を図る。	専門科目全般の学習指導および体験的・総合的な学習の充実を図る。												

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状のまま D:後退した)

平成23年度 雄山高等学校アクションプラン		－ 3 －
重点項目	(2 学校生活) 交通安全指導の充実と基本的生活習慣の確立	
重点課題	自転車乗車時の安全意識の向上を図る。	欠席をする生徒数を減らす。
現状	昨年度(平成22年度)は、6件の交通事故が発生し、そのすべてが自転車乗車中によるものであった。幸い命に関わるような大事には至らなかったが、交通安全指導の強化を早急に行っていく必要がある。	昨年度(平成22年度)、無欠席だった生徒は、全体の48.2%で、半数以上の生徒が、何らかの理由により欠席をしていた。特に冬期間に欠席数が増加する傾向があり、冬場の体調管理を徹底する指導が必要である
達成目標	①交通事故の発生件数ゼロ	②無欠席生徒の割合60%以上
方策	週に1回以上、登下校時に学校周辺の道路や交差点で生徒指導部職員を中心に交通安全指導を行う。特に、自転車の二人乗りや傘さし、イヤホンの使用などを重点的に指導する。	<ul style="list-style-type: none"> ・皆勤に対する社会の高い評価を適宜生徒に伝える。 ・冬期間の手洗い(消毒)やうがいの徹底を特活厚生部と連携して行う。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状のまま D:後退した)

平成23年度 雄山高等学校アクションプラン		－ 4 －
重点項目	(3 進路支援) 進路実現を図るための基礎学力の充実	
重点課題	具体的な進路目標を早期に設定させる。	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的諸問題に対し、自己を見つめ、自らの姿勢や考えを論理的な思考のもとに適切に表現するための基礎学力が身につけていない生徒が多い。 ・3年生になって、なお進路目標を決めかねている生徒がいる。 	
達成目標	①2学年3学期開始時において具体的な進路目標を明確にもっている生徒の割合90%以上	②生徒が第1志望とする進学先の合格率と就職先の内定率 80%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・適性検査及び進路ガイダンスを計画的に行う。また「職場の先輩に聞く会」など卒業生のお話を聞く機会を充実することにより、自己を見つめ、進路についての考えを深めるようにする。 ・担任を中心として、面接の機会を重視し、生徒の進路目標への意欲を引き出し、向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスや職場見学に参加できるように適切な情報を随時提供する。 ・学習合宿や早朝補習、放課後補習などをおして基礎学力を定着させ、目標達成に向けて、さらに発展を図る ・面談を重ねることにより、生徒の志望を確かなものとし、安易に妥協しないような指導に努める。また、保護者懇談会の機会を利用して、家庭との連携の緊密化を図り、協力を求める。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状のまま D:後退した)

平成23年度 雄山高等学校アクションプラン		－ 5 －
重点項目	(4 特別活動) 特別活動の充実	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を通して、公共心と自主性を養う。 ・部活動を活性化する。 	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会が企画した各種ボランティア活動の参加率は、おおよそ軌道に乗ってきている。特に春秋のさわやか運動は、生徒会執行部や各ホームルーム役員が積極的に取り組んでおり、地域と連携を取りながら進められている。 ・ボランティアへの参加動機においてはまだ受動的なところがあり、自ら進んで参加する生徒ばかりではない。 ・1学年は全員部活動加入制をとっているが、決して積極的な活動参加とは言えず、2学年進級時大幅に加入率が低下しているように思われる。 ・生徒全体の傾向として、辛いことを避ける傾向がある。また、協調性に欠け、人間関係を築くことが苦手な生徒が目立ってきている。 	
達成目標	①ボランティア活動体験率 年度内 生徒参加率 90%以上	②部活動満足度調査 75%以上 満足
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との連携を視野に入れ社会全体に貢献できるボランティア活動を目指す。 ・ボランティア活動を行うことによって生まれる多くの効果を学習させる。 ・日常的なボランティア活動から生徒会が企画する活動・地域で行われる活動まで幅広い活動を数多く体験させる。 ・学期ごとにアンケート調査を実施して、ボランティア活動体験率を確認し、達成感も確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・部活動を続けることで、達成感や充実感、また仲間とのコミュニケーションが取れるように、顧問・生徒が一体となって進められる環境の整備を図る。 ・定期的にキャプテン会議・顧問会議を招集し、活動の問題点などを話し合う。 ・顧問、施設設備の充実をはかる。 	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状のまま D:後退した)

平成23年度 雄山高等学校アクションプラン		－ 6 －
重点項目	(4 特別活動) 読書習慣の定着	
重点課題	図書館利用率の向上を図る。	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の図書に対する興味・関心が低く、じっくり物を考える生徒が減少している。 ・推薦入試等では、小論文重視傾向が強まっているが、生徒は、小論文に関する基本的な知識が備わっておらず、苦勞している。 ・生徒の図書館利用率が低い。また、図書館利用者が固定している。 	
達成目標	①年間図書貸出生徒の割合 60%以上	
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会の活性化を図り、その主体的な活動を通して、各クラス・全生徒への適切な情報の提供に努める。 ・新しく入った図書の掲示を生徒玄関の近くで行う。 ・図書館の開館日や時間を増やすための工夫を行う。 ・小論文対策の書籍・資料を収集し、朝読書やHR等で生徒が参考にできるよう工夫する。小論文コーナーを設けることも検討する。 ・図書館だよりや教養講座を通して知的好奇心を高める。 ・図書館の利用者総数を明確にする。 	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状のまま D:後退した)